

謝 辞

このたびは、多くの皆様方のご協力を得まして、「Japio YEAR BOOK 2019」を発行することができましたことを、心より御礼申し上げます。

今回は、京都大学 長尾真 名誉教授から特別寄稿を賜りました。長尾先生の平成30年度文化勲章ご受章を心よりお祝い申し上げますと共に、当財団への長尾先生の永年にわたる多大なるご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

また、「特許情報分野における AI 活用のススメ」という特集にご寄稿いただいた、国立研究開発法人産業技術総合研究所 辻井潤一 フェロー、特許庁総務部 多賀和宏 課長補佐、特許庁審査第一部 久保田葵 基準企画係長、国立研究開発法人情報通信研究機構 隅田英一郎 フェロー、特定非営利活動法人日本知的財産翻訳協会 奥山尚一 理事長、ブライトン国際特許事務所 梶俊和 所長弁理士・技術士、日本アイ・ビー・エム株式会社東京基礎研究所 鈴木祥子 リサーチ・スタッフ・メンバー、株式会社イーパテント 野崎篤志 代表取締役社長に深甚なる感謝の意を表します。

更に、官公庁、各種団体、大学、企業等の各界を代表される方々から多数のご寄稿や情報システム・サービスの紹介を賜りましたことを、重ねて深く感謝申し上げます。

本誌に掲載された情報は、特許情報や技術情報に関係される多くの方々に有益な情報となり、さらに情報システム・サービスを提供しておられる各社様の今後のご発展の一助になるものと確信しております。

当財団は、質の高い特許情報を提供することにより、経済社会への貢献を目指すことを理念として、企業の技術開発の促進等に貢献すべく、特許情報の充実と普及啓発に取り組んでおります。今後もこの理念を時代に沿った形で実現していくために、特許情報の「機械翻訳」や「検索」に関する技術の研究や、急速に進展してきた AI 技術の活用研究を通じ、当財団が提供する特許情報の品質向上及び高度化に努めて参ります。そして、「産業日本語」の研究・普及、「Japio YEAR BOOK」発行や「特許情報フェア&コンファレンス」開催などの機会を通じて、特許情報に関連する知見や最新技術動向を広くお知らせし、社会に貢献していく所存です。

今後とも、私ども一般財団法人日本特許情報機構に対して、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。謝辞とさせていただきます。

一般財団法人日本特許情報機構 専務理事 小林 明